

西宮市立塩瀬中学校 3年 部長 クラリネット

昨年のコンクールで県大会金賞を達成した私たちは今年、関西大会出場、金賞受賞を目標に団結して練習に励んでいました。そんな中、休校やコンクールの中止が決まり、受け入れることができないほどのショックを受けました。

落ち込む私たちに、顧問の先生や卒業生の先輩方が励ましの言葉をかけてくださいました。練習や本番ができなくても、私たちに応援して下さる方々がいることを改めて感じ、「練習が再開したら、全員で『最幸』の音楽をつくろう」と心に決めました。

コンクールはなくなってしまうけれど、日頃の活動の中で後輩にしっかりとバトンを繋ぐため、気持ちを切り替えて活動しています。いつかまた、お客さんの前で演奏するとき、私たちの音楽でたくさんの人を笑顔にできるように、聴いている人たちに元気を与えられるように、1人1人が今できることを精一杯頑張っていきたいと思います。

丹波篠山市立丹南中学校 3年生一同

私たちは今まで、コンクールでの金賞受賞、定期演奏会に向けて日々練習を重ねてきました。しかし、コンクールがなくなり、定期演奏会もこういった形になるのか分からないという状況になってしまい、私たちはとても悲しく、悔しいです。それでも私たちは、今までの自分たちの練習、日々の努力を信じ、引退まで全力で部を引っ張っていこうと考えています。

この二年半、辛かったこと、大変だったこと、苦しかったことがたくさんありました。しかし、このコロナウィルスに止められた三か月間の気持ち。これを思い出せば、これから起こるどんなことにも立ち向かっていけると思います。苦難の後には必ず達成感がある。嬉しさがある。悦びがある。このことを胸に、丹南中学校吹奏楽部はこれからも頑張っていきます。

音を、絆を、感情を、“つなぐ”。「和～Blieve～」

県立篠山産業高等学校 3年 副部長 アルトサクソ

私達は今年、コンクールで関西大会に出場することを目標に練習に取り組んできました。

新体制になってから、練習方法を変更して様々な工夫を凝らし、目標達成の強い気持ちで切磋琢磨して練習してきました。そんな中、コンクールの開催中止は、とても悔しく残念でやりきれない気持ちでした。しかし、新たな目標に向かって、部員一同歩みを止めることなく進み続けています。今までのように部活をすることは難しく制限がかかっていますが、そんな中でも一生懸命練習に取り組む部員達は輝いています。そして、部員全員で合奏できることが、当たり前ではなく、とても幸せなことだと痛感する日々です。

8月に演奏ができる予定となり、本番を聞いてくださる方に自分たちの想いが届けられるように、毎日の練習を大切に楽しんでいきたいと思っています。

宝塚市立山手台中学校 副部長 フルート

ホールいっぱい自分たちのサウンドのベールが包み込むような感覚。もう一度感じてみたかった。

感染症の影響で、コンクールが中止になることは予想できていた。しかし、いざ中止が発表されると体験したことのない、どうにもおさまらない気持ちになっていた。喉の奥がきゅっつと締めつけられるような感じ。溜め息さえ漏れない。目の前にあった楽器が、ただの残ってしまった青春の沈殿のように見えた。去年の夏は、結果が銀賞で帰りのバスの中で部員全員が泣いた。座席がひどく湿っていたことをよく覚えている。

先輩からのバトンを次に引き継ぐために、今は文化発表会、定期演奏会が最大の目標だ。校舎に吹奏楽部の出す音色があると、なんだか嬉しい。あの時、空虚に見えた楽器も、自分の相棒へと戻ってきた。長い目をもって、この経験が無かったものにはしたくない。

山手台中学校吹奏楽部は、今日も進み続ける。